

7月31日(日)



この日はチョムスラン・アパタム高校の学生と行動を共にしました。昼から史跡観光をする時には日本人1人につき1人のタイの高校生がつきそい、とても内容の濃い時間となりました。アパタム高校の学生は日本語を勉強しているので会話は日本語を中心としたものとなりました。たどたどしい日本語だったけれど一生懸命話そうとしてくれたことがとてもうれしかったです。

また、史跡を見るだけでなく、一緒にタイのお菓子を食べたり寺院にいったりおみくじみたいなものをひいたりもしました。

夜はアパタム高校の昼間とは違う学生と交流しました。タイの民族音楽を聴き、船の窓から見えるタイ独特の風景を眺めながらタイ料理を食べたのは中々味わい深いものでした。食事が終わったあとは日本人タイ人まじってのゲームをしたりタイの民族舞踊と一緒に踊ったりしました。タイ舞踊は簡単に見えてこれが以外と難しく、苦戦を強いられましたが楽しんで踊ることができました。

(油井)

8月1日

朝食の後にアユタヤ県を出発しました。歴史が好きなのでここを去ることは少し惜しく感じられました。タイの空は雨季のせいか曇っていました。

この日は、チョムスラン・アパタム高校を訪問することになっていて、タイの高校、そして女子校と普段はあまり関わりのないところなので少し緊張しました。しかし、実際に行ってみると、そんな気持ちは一気に吹き飛ばされました。



チョムスランの生徒たちは、驚くほどのハイテンションで僕たちを迎えてくれました。

その後、学校の中を案内してもらいました。授業中の教室を覗いてみると、英語の授業をしており、聞いていると日本の英語の授業とは明らかに違うことに気がつきました。なんと授業は英語で行われていました。タイに行く前から「なぜ、ほとんどのタイ人は英語をしゃべるんだ」と疑問に思っていたが、その謎は解けた。つまり英語の授業はすべて小野高校で言う「コミュニケーション」と同じように英語で行われていました。そして、今日がホテルに泊まる最後の日でもありました。(亀田)